

67号

令和2年
1月24日発行

いといがわ

議会だより

目次	Contents
委員会報告	2～5 P
一般質問	6～11 P
議案審議結果など	12～13 P
次回定例会日程など	14 P



復興まち歩きの日2019 (12月21日)

第5回定例会を開催 ～12月2日から12月19日まで～

本定例会では、条例関係、補正予算、指定管理者の指定などの市長提出議案53件、諮問1件、請願2件、陳情1件、議員発議3件を審議しました。

本定例会における審議結果は、12・13ページをご覧ください。

議会の動き

10月

- 3日 糸魚川市駅北復興まちづくり調査特別委員会
- 4日 青森県弘前市議会視察来市
- 7日 建設産業常任委員会市外調査 (～9日)
- 8日 石川県川北町議会視察来市
- 16日 宮崎県宮崎市議会視察来市
岐阜県羽島市議会視察来市
岡山県井原市議会視察来市
- 24日 埼玉県入間郡町村議会議長会視察来市
- 29日 議会運営委員会
- 30日 市民厚生常任委員会市外調査

11月

- 5日 総務文教常任委員会
- 6日 総務文教常任委員会市外調査 (～8日)
長崎県大村市議会視察来市
- 8日 山形県小国町議会視察来市
- 11日 議会運営委員会市外調査 (～12日)
- 12日 長野県富士見町議会視察来市
静岡県熱海市議会視察来市
- 13日 糸魚川市駅北復興まちづくり調査特別委員会市外調査

- 14日 市民厚生常任委員会
- 18日 建設産業常任委員会
- 19日 糸魚川市駅北復興まちづくり調査特別委員会
- 20日 新潟県議会視察来市
鹿児島県鹿児島市議会視察来市
長野県山ノ内町議会視察来市
東京都西東京市議会視察来市
- 21日 上越三市議会議員合同研修会
- 22日 総務文教常任委員会
- 25日 議会運営委員会
糸魚川市・朝日町議会議員連絡協議会

12月

- 2日 本会議 (初日)
- 5日 議会運営委員会
- 6日 本会議 (一般質問) (9日、10日)
- 11日 行財政調査特別委員会
- 12日 建設産業常任委員会
- 13日 市民厚生常任委員会
- 16日 総務文教常任委員会
- 18日 議会運営委員会
- 19日 本会議 (最終日)

常任委員会

市の事務に関する調査及び議案・請願等の審査を行うための常設の委員会です。

本会議で付託された条例制定、補正予算などの案件について、3つの常任委員会で審査をし、議案は全て原案どおり可決しました。

総務文教常任委員会

条例の制定21件、補正予算1件、指定管理者の指定1件、請願1件、その他2件を審査しました。また、「消防団の現状と課題について」「台風19号の対応について」「第2期『糸魚川市まち・ひと・しごと創生総合戦略』の策定について」「子ども一貫教育基本計画について」の所管事項調査を行っています。

市民厚生常任委員会

条例の制定4件、補正予算2件、指定管理者の指定2件、陳情1件を審査しました。また、「次期ごみ処理施設の整備について」「一般廃棄物最終処分場の整備について」「糸魚川市環境基本計画(案)について」「糸魚川市一般廃棄物処理基本計画(案)について」「健康づくりセンタープールの整備について」「国民健康保険税の見直し方針について」の所管事項調査を行っています。

建設産業常任委員会

条例の制定10件、補正予算3件、指定管理者の指定8件、請願1件を審査しました。また、「指定管理者の評価結果について(柵口温泉権現荘)」の所管事項調査を行っています。



建設中の次期ごみ処理施設と健康づくりセンタープールを視察



閉会中の所管事項調査

常任委員会が、定例会の会期以外の日に行う調査です。

総務文教常任委員会

11月5日

- ◎子ども一貫教育について
- ◎公共施設の管理と運営について

11月22日

- ◎市外調査の集約について

市民厚生常任委員会

11月14日

- ◎市外調査の集約について

建設産業常任委員会

11月18日

- ◎観光振興について
- ◎農林水産業の振興と整備について
- ◎ガス水道事業について
- ◎市外調査の集約について

委員会協議会

市民厚生常任委員会では、11月14日に委員会協議会を開催し、特別養護老人ホームみやまの里と特別養護老人ホームクレイドルやけやまで、施設の現状と課題についての懇談と施設内の視察を行いました。



みやまの里を視察



クレイドルやけやまとの懇談

議会運営委員会

議会運営をスムーズに進めるために、議会全般にわたる事項について協議・調整する委員会です。

10月29日

- ◎議員定数について
- ◎議員間討議について
- ◎決算審査について

11月25日

- ◎第5回市議会定例会の会期及び日程について
- ◎請願・陳情の付託について
- ◎委員長報告について
- ◎意見交換会の開催について
- ◎市外調査について
- ◎議会運営について
- ◎議会費予算要求について
- ◎議員の服装について

12月5日

- ◎追加議案について
- ◎議会費予算要求について

12月18日

- ◎委員長報告について
- ◎議員発議について
- ◎閉会中の継続調査の申出について
- ◎3月定例会の会期及び日程（予定）について
- ◎議会運営について

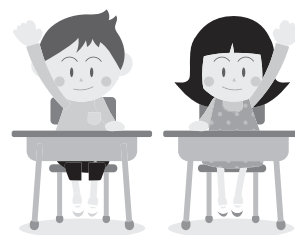
特別委員会

市の重要課題について、専門的に調査研究を行うため、必要に応じて設置される委員会です。

行財政調査特別委員会

12月11日

- ◎糸魚川市財政の調査について
- ◎少子高齢化と人口減少化の行財政運営について



糸魚川市駅北復興まちづくり調査特別委員会

10月3日

- ◎糸魚川市駅北復興まちづくり計画について
- ◎市民・関係団体との連携について
- ◎市外調査について

11月19日

- ◎糸魚川市駅北復興まちづくり計画について
- ◎市民・関係団体との連携について
- ◎市外調査の集約について

委員会協議会

糸魚川市駅北復興まちづくり調査特別委員会では、委員会協議会を開催し、今後の糸魚川のまちづくりと駅北のまちづくりについて、糸魚川青年会議所、糸魚川広域商店街、糸魚川市民団体まちづくりらぼの皆様と懇談を行いました。



青年会議所との懇談（10月28日）



糸魚川広域商店街との懇談（11月26日）

中間報告

本定例会最終日、糸魚川市駅北復興まちづくり調査特別委員会の中間報告が行われました。概要は次のとおりです。

糸魚川市駅北復興まちづくり調査特別委員会（中間報告概要）

糸魚川市駅北復興まちづくり調査特別委員会は、糸魚川市駅北復興まちづくり計画について、市民・関係団体との連携についてを付議事件とし、11月までに7回の委員会と2回の市外調査及び3回の市民・関係団体との意見交換を行った。

6月14日の委員会では、行政から駅北広場建物の工事費が当初予算を大幅に超える可能性があることから面積、建物の高さ、仕様を変更して進めていることが報告された。

8月30日の委員会では、行政からにぎわいの拠点施設の整備は駅北まちづくり会議で施設の位置づけや必要性を議論いただき具体化していく。用地は既に購入契約したところ以外も検討するが、施設の内容や規模が定まっていないことから具体的な交渉には至っていないと説明がされた。

11月19日の委員会では、復興工事の現地調査後に、消防力の強化、雁木の再生、駅北広場の運営、にぎわいの拠点施設整備などについて調査を行った。

市外調査では「にぎわいのあるまち」をテーマに、8月6日に小布施町立図書館まちとしょテラ

ソ、小布施まち歩きガイドの案内で、おぶせまちじゅう図書館などの調査を行った。また、同日、長野市の善光寺周辺のエリアリノベーションについて調査を行った。

11月13日には、新発田市役所庁舎「ヨリネスしばた」と新発田駅前複合施設「イクネスしばた」の調査を行った。ヨリネスしばたは、1階ロビーにコンビニ、FM放送局、市民向け展示スペースがあり、隣接する「札の辻広場」は、全天候型3層吹き抜け多目的ホールになっており、利用者の自由な発想に応えられる施設となっている。イクネスしばたは、図書館を中心として子育て支援施設、音楽スタジオ、キッチン、ベーカリー&コーヒーショップ、多目的ホールが設置されている。

市民・団体との連携の調査では、6月20日に大町・緑町・新七・中央の被災四地区区長と、10月28日に糸魚川青年会議所会員と、11月26日に広域商店街と、駅北のにぎわいや駅北広場の活用をテーマに意見交換を行い、行政や議会と情報共有ができていないことが課題として出された。



建設中の駅北広場「キターレ」



新発田駅前複合施設「イクネスしばた」

行政視察報告

市の課題や先進事例を調査するため、他団体を視察しています。

令和元年10月から12月までに行った行政視察の概要は、次のとおりです。視察後は、委員会の中で意見集約し、本会議での委員会報告や、行政への情報提供、提言を通して市政に反映していきます。

総務文教常任委員会（11月6日～8日）

視察先／調査項目

- ①福岡県田川市／陰山メソッドの取組（徹底反復学習「陰山メソッド」に基づいた指導の取組状況とその成果）、ICT（情報通信技術）教育（ICTの学校現場と教育行政が一体となった推進体制）
- ②福岡県行橋市／教育ICT環境整備事業（教育現場におけるタブレット端末、電子黒板等を活用する教育の情報化への取組）
- ③岡山県玉野市／移住・定住促進の取組（玉野市への移住・定住をサポートするための取組）



田川市立伊田小学校で徹底反復学習を視察

建設産業常任委員会（10月7日～9日）

視察先／調査項目

- ①兵庫県養父市／国家戦略特区による中山間農業改革の取組（農業の衰退・消滅が地域の衰退・消滅につながるため、中山間地の価値を変え、国家戦略特区の指定を目指した取組とその成果）
- ②兵庫県丹波市／古民家・空き店舗等を活用した起業・創業支援（中心市街地活性化計画を策定する中で、官民連携した起業・創業支援の取組状況）
- ③滋賀県東近江市／ちょこっとバス、ちょこっとタクシー（交通弱者の生活を支え、地域に密着した公共交通の役割）



丹波市で空き店舗等を現地視察

市民厚生常任委員会（10月30日）

視察先／調査項目

- ①新潟県見附市／スマートウエルネスみつけ（歩くことを基本とし、健康になれるまちを目指した様々な取組とその成果）
- ②新潟県新潟市／農福連携による障害者の雇用確保（農業と福祉連携による事業推進の経過とサポートセンターの役割）



見附市でスマートウエルネスみつけを視察

議会運営委員会（11月11日～12日）

視察先／調査項目

- ①兵庫県西脇市／議会改革の取組（予算決算サイクル、予算常任委員会と決算特別委員会、議員間討議、議員定数）
- ②兵庫県丹波市／議会改革の取組（予算決算常任委員会、議員間討議、議員定数）

糸魚川市駅北復興まちづくり調査特別委員会（11月13日）

視察先／調査項目

- ①新潟県新発田市／ヨリネスしばた、イクネスしばた（施設設置に至る経過と成果）

※QRコードをスマートフォンやタブレット端末で読み取ると、各議員の一般質問の録画中継を視聴できます。



笠原 幸江 議員



質問

老人いこいの家事業の現状と課題について

老人いこいの家事業の施設は、現在3か所「笹倉温泉・ひすいの湯・塩の道温泉」で、新たに権現荘が加わると4か所となる。

利用される方にとっては、四季折々の楽しみ方が増えて利用しやすくなると考える。施設の利用料金がそれぞれとなっていることから、以下の項目について伺う。

- (1) 利用方法が適正に守られ運営しているか、確認されているか伺う。
- (2) 湯ったりくらぶは楽楽体操を地区運動員によって実施しているが、その現状と今後について伺う。

▼市長答弁

- (1) 委託事業者から市に毎月提出される実績報告書による確認と、市の担当者が施設を訪問し、適正な運営となっている状況確認を行っている。
- (2) 26年度からの3年間、楽楽体操を実施してきたが、現在は各老人いこいの家に楽楽体操のDVDを

配布し、継続して運動習慣の普及に取り組んでいる。

質問

水中運動教室の移行について

糸魚川クアリゾートプール（ひすいの湯）で長年取り組まれている水中運動教室は、須沢に建設中の令和2年4月にオープン予定のプールへ移行するため、利用者に説明とアンケート調査をされている。その結果などが、利用者へ説明されていないことから、不安視する声が出ている。今後の水中運動教室への参加促進につなげるために、以下の項目について伺う。

- (1) アンケート結果の集約を利用者に説明する予定はあるのか、あるとしたらいつ頃としているか伺う。
- (2) 4月から移行するのは水中運動教室の木曜日教室のみなのか、全般にわたってなのか、計画がどのように進んでいるか伺う。

▼市長答弁

- (1) 本年9月にアンケートを実施し、11月下旬から、利用者の皆様へアンケート結果の説明をさせていただいている。
- (2) 利用者の皆様からクアリゾートプールでの教室を継続してほしいとのご意見を多数頂いていることから、教室を一部継続する方向で調整していきたいと考えている。



滝川 正義 議員



質問

マイクロRNAを活用したがん、認知症対策について

- (1) 健康政策について
健康政策に関して、特に力を入れている取組、あるいは糸魚川市独自の特色ある取組があるか伺う。
- (2) マイクロRNAを活用した健康政策について
一滴の血液からがん及び認知症を早期発見できる、マイクロRNAを活用した検診プロジェクトに参加する考えがないか伺う。

▼市長答弁

- (1) 第2次健康いといがわ21に基づき、健康寿命の延伸に向けて取り組んでおり、特に健康実態に合わせた重症化予防に力を入れている。
また、市の健康運動指導士が中心となり地区運動教室の開催地を年々増やし、市民の運動習慣の定着につなげている。
- (2) マイクロRNAはがんを早期に発見する新しい検査方法と言われているので、今後調査研究していく。

質問

小水力発電の活用について

- (1) 糸魚川市新エネルギービジョンについて
糸魚川市新エネルギービジョンでは、小水力発電はどのように位置づけられているのか伺う。
- (2) 焼山川の小水力発電について
平成26年度の調査で事業化の可能性が有望とされていた焼山川の小水力発電の現状は、どのようになっているのか伺う。
- (3) 湯沢川の小水力発電について
一方、同じ調査で事業化の見込みがなかった湯沢川の小水力発電は、新電力事業者が事業化の可能性ありとして参入している。この真逆の調査結果をどのように理解すればいいのか伺う。

▼市長答弁

- (1) 利用可能なエネルギーの一つとして位置づけており、先進事例の研究や、市民・事業者への情報提供及び関係者との調整を行うこととしている。
- (2) 民間事業者が、事業化の可能性について検討を進めていると聞いている。
- (3) 再生可能エネルギーによる発電事業を専門に行っている事業者が、独自のノウハウにより、採算性を向上させたのではないかと考えている。

その他の質問項目

- 障害者の高齢化について
- 台風19号に関する避難対応及び河川整備について



吉川 慶一
議員



質問

糸魚川市沖の海底地形のジオパークへの活用と津波対策について

- (1) 海底の魅力創出と糸魚川ジオパーク
 - ①糸魚川市の海岸を、ジオサイトの一つとして位置づける考えはあるか。
 - ②市の観光において効果的なPRにつなげるためには、陸上サイトと海底サイトを一体とした、規模の大きなジオラマを製作して展示するなどの考えはあるか。
- (2) 糸魚川市沖の上越・糸魚川断層と津波
 - ①新潟県は平成29年度に津波浸水想定区域を公表したが、その中の「基準水位」については、市民にどのくらい理解できていると考えているか。
 - ②地震発生後、最も早い場合はどれくらいで津波が到達すると予測されているか。

▼市長答弁

- (1) ①弁天岩や親不知など沿岸部のジオサイトでは、日本海との関わりについても情報発信を行っているところであり、海に限定したジオサイトの設置は現時点では考えていない。

- ②解説板やガイドブックの海底地形図を活用して、海の恩恵や多様性について説明を行っていることから、現時点でジオラマの製作は考えていないが、詳細な海底図が必要と考えている。
- (2) ①津波ハザードマップに記載し全世帯に配布するとともに、出前講座などで周知している。
- ②津波の最も早い到達時間は、5分以内となっている。

質問

中山間地域の農業振興と災害対応について

- (1) 第5期の中山間地域直接支払制度の内容について、これまで、市ではどのように情報収集し、今後、関係者へ周知する予定か。
- (2) 台風19号での市内での農地、農業用施設の被害状況と今後の対応についてはいかがか。

▼市長答弁

- (1) 10月29日に県から第5期事業の制度概要の説明があり、11月22日に15の協定組織へ説明し、意見交換を行った。
来年1月以降、制度の詳細が分かり次第、各協定組織と事業の取組を進めていく。
- (2) 能生地域と糸魚川地域で農地・農業用施設の被害が大きい状況であり、今後、来年の耕作に向けて、復旧に取り組んでいく。



保坂 悟
議員



質問

株式会社能生町観光物産センター(第3セクター)の50%株主としての市の役割と責任説明について

- (1) 権現荘直営時代の市の責任の検証について
 - ①市は直営時代に元支配人の民間手法による経営と職員教育について、帳簿と記録がないことを理由に検証をしなかった。分析と検証はどうなっているか。
 - ②市は約4億円のリニューアル改修工事を行っているが、指定管理中、どのような効果があったか。
- (2) 50%株主として権現荘の指定管理継続決定について
 - ①赤字分析はどのように行っているのか。
 - ②赤字が続いている中、指定管理継続を了承した理由は何か。

▼市長答弁

- (1) ①元支配人が行ってきた接遇や料理の改善、料金体系の見直しなど良い部分は継続し、議会や監査委員などから指摘のあった点については、改善し指定管理者に引き継いでいる。
- ②老朽化していた施設の改修により、顧客満足度が改善され、従業員の作業効率の向上も図られている。

- (2) ①毎月の売上状況の報告や定例協議などにより行っている。
- ②公募に対して応募があり、公の施設指定管理者選定委員会で審査が行われ、指定管理者の候補者として決定したものである。

質問

福祉行政の推進について

- (1) 逆ヘルプマークの導入について
逆ヘルプマークとは、静岡市の小学生らが障害者や困っている人たちに「協力が必要な時は声をかけて」という気持ちを示すために発案したものである。市でも導入する考えはあるか。
- (2) 認知症の専門家の増員について
介護をする者とされる者の間で細やかな配慮ができる環境整備のため、専門家を増員して指導や研修機会を増やす考えはあるか。

▼市長答弁

- (1) 逆ヘルプマークは市民に対して障害者への支援を広める一つの方法であると考えているが、まずは広く市民が障害者への理解を促進できるよう進めていく。
- (2) 現在、認知症に関する研修を受講した認知症キャリアバンメイトが120人登録されており、認知症サポーター養成講座等の講師として活躍いただいている。今後も市民への啓発や研修の機会を増やしていく。

その他の質問項目

- 動物愛護について
- 子どもの安全安心対策について



佐藤 孝 議員



質問

台風等の異常気象対策について

- (1) 5月29日より運用が始まった大雨警戒レベルは、台風19号で警戒レベル3と警戒レベル4が市によって発令された。それを受けての住民の行動についてはどう分析、評価をしているか伺う。
- (2) 警戒レベル4の避難勧告では、対象地域住民は全員避難となっている。避難所の確保とともに、住民の避難を促すことが必要と考えるがいかがか。
- (3) 能生の避難所である能生小学校には、ペットの犬を連れてきた人が玄関に犬とともに座り込んでいたが、ペット連れの避難者への対応はいかがだったか伺う。

▼市長答弁

- (1) 早めの勧告により、地区開設の避難所も含めて1,500人を超える方が避難しており、近年の大雨などの教訓が生かされているものと思っている。
- (2) 避難所に避難することだけではなく、身内避難や垂直避難などによる安全確保も有効な手段であると考えている。
- (3) ペットは、ケージに入れたうえで、避難所で受け入れることを原則としている。

質問

市民生活の応援策について

- (1) 高齢者の難聴と認知症について、その関連が指摘されている。増える傾向にある認知症予防としても、難聴対策が有効なのではと思うがいかがか。
- (2) 国民健康保険税の均等割は、生まれたばかりの子供にも掛かってくる。均等割の削減で市民生活の応援ができないかと思うがいかがか。
- (3) 国民健康保険税の滞納と、短期被保険者証と被保険者資格証明書の交付状況について伺う。
- (4) 介護保険料の普通徴収での納付、滞納の状況について伺う。

▼市長答弁

- (1) 加齢性難聴を悪化させる原因として糖尿病や高血圧などがあることから、若い頃からの生活習慣病予防に取り組んでいる。
- (2) 国民健康保険税は、地方税法の規定に基づき課税しており、現在、子供の均等割を廃止することは考えていない。
- (3) 30年度決算における国民健康保険税の滞納者数は223世帯で、そのうち短期被保険者証は118世帯、被保険者資格証明書は7世帯に交付している。
- (4) 30年度決算の現年度分の収納率は96.2%で、滞納者は96人である。



東野 恭行 議員



質問

糸魚川市駅北復興まちづくり計画の進捗について

平成29年8月に策定された当計画では3つの方針が掲げられ、復興まちづくりを推進している。現在までの進捗状況と、まちの将来像について伺う。

- (1) 「立地適正化計画」で定める「都市機能誘導区域」、「居住誘導区域」と、糸魚川市駅北復興まちづくり計画との関連性、将来像について伺う。
- (2) 大火以後、新たに駅北でまちづくり活動をされる団体と、住民や商店街組織との関連性についてご存知か伺う。
- (3) 平成31年2月に開催された「リノベーションスクール」の成果と、その後の経過を伺う。

▼市長答弁

- (1) 立地適正化計画では将来の人口減少を見据え、おおむね20年後の都市の姿を展望する中で、糸魚川駅周辺において、復興まちづくり計画対象区域を含めて、誘導区域を設定している。
計画の期間や区域は異なるが、都市機能の誘導やにぎわいの創出、一定の人口密度の維持など、目指す方向性は一致しているものと考えている。

質問

糸魚川市におけるICT教育の環境整備について

文部科学省では、「教育の情報化加速化プラン」を策定した。ICT教育における環境整備は、糸魚川市においても重要な課題であると考えている。

- (1) 市内小中学校において、「電子黒板」や「タブレット」導入の現段階の実績と、今後ICT教育の環境整備の検討を伺う。
- (2) 糸魚川市が考えるICT導入におけるメリット・デメリットは、どのようにお考えか伺う。

▼教育長答弁

- (1) 電子黒板や大型モニターなどは、小中学校合わせて111台、キーボード付きのタブレットパソコンは508台で、約5人に1台整備している。また、今年度から学校ICT支援員を配置し、ICT機器の取扱いや、授業のサポートを行っているところであり、さらなる整備を図っていく。
- (2) 教科書や資料集よりも見やすく、理解しやすいという点がある反面、整備コストが高いことやICTスキルを持った教職員の育成が課題である。



松尾 徹郎 議員



質問

公共施設整備について

- (1) 平成27年度に「公共施設総合管理指針」が作成されたが、その後具体的な「公共施設総合管理計画」として報告がなされたかどうか。また、公共施設の現状について、管理台帳が整備されているのかどうか。その後の経過と「計画書」が出来上がったのか伺う。
- (2) 「公共施設総合管理指針」では、現在ある公共施設を維持していくことは困難であると記されている。地域によっては集会施設等の維持を始め、上下水道等の維持管理費、使用料、取壊し費用などの課題も考えられる。これらの課題に対し、どのように対応するか伺う。

▼市長答弁

- (1) 平成31年2月に、分類ごとの方向性を定める個別計画を策定するとともに、7月には施設カルテを作成し、それぞれホームページで公開している。
さらに本年度は、施設評価に取り組んでいるところである。
- (2) 5年ごとに指針を見直すこととしており、令和2年

度で、施設や使用料のあり方などの諸課題を踏まえ、将来を見据えた改訂に取り組んでいきたいと考えている。

質問

プログラミング教育実施について

- (1) プログラミング教育をスタートすることになった背景について、具体的に説明願う。
- (2) 小学校段階でのプログラミング教育の狙いは一体何か。また、各教科の授業を始め、どこまでの範囲を小学校段階で取り扱うことができるのか伺う。

▼教育長答弁

- (1) これからの社会において、情報や情報技術を主体的に活用していく力や、情報技術を手段として活用していく力が重要であること、子供たちが将来どのような職業に就くとしても、「プログラミング的思考」を育んでいく必要があることの2点が背景として挙げられている。
- (2) 狙いの1つ目は、「プログラミング的思考」を育むこと、2つ目は、情報社会が情報技術によって支えられていることに気づき、コンピュータ等をよりよい人生や社会づくりに活用していく態度を育むこと、3つ目は、各教科等での学びをより確実なものとすることである。
学習指導要領で例示されている算数や理科の学習の他にも、子供の実態や負担に配慮しながら、各学校の裁量で行うことができるとされている。



田原 実 議員



質問

地域医療の現状と課題、看護師確保等について

- (1) 県立病院統合による厚生連病院への影響について伺う。
- (2) 糸魚川市の看護師確保策の成果と課題について伺う。
- (3) みんなで支える地域医療講座の成果と課題について伺う。

▼市長答弁

- (1) 県立病院の経営改善に向けて、県立病院経営委員会が役割・あり方に関する提言を行っており、厚生連病院についても、影響があるものと捉えている。
- (2) 市が貸与している修学資金を受けた看護師の約6割が市内就業をしており、一定の成果を挙げていると考えている。
課題は、多くの方から看護職に関心を持っていただくことと、支援制度をより浸透させていくことであると考える。
- (3) 県と市が共同で実施している事業で、講演会や講座の実施により、地域医療の現状について市民の理解を深めていただいており、今後更に多くの市民から理解していただく必要があると考えている。

質問

新駅押上駅開業と新しいまちづくりについて

- (1) 押上駅開業日、開業前、開業後のスケジュールについて伺う。
- (2) 駅建設周辺地区及び地区住民との連携について伺う。
- (3) 駅周辺まちづくりに必要となる土地確保について伺う。

▼市長答弁

- (1) 令和3年3月の開業を目指して、今年度及び2年度は施設整備工事を行い、開業後は利用促進を図っていく。
- (2) 地元の押上新駅設置連絡会の活動と連携して、開業後の利用促進を図り、地域の活性化につなげていく必要があると考えている。
- (3) 下り線側で駅ホームへ連絡するスロープ、階段等設置のために必要となる用地を購入させていただく予定としている。

その他の質問項目

- 台風19号による大雨洪水住民避難対応等について
- 糸魚川市駅北大火からの教訓と備え、防災教育・防災視察の現状と課題等について
- 糸魚川市の責任で進める糸魚川市駅北復興まちづくり計画について



田中 立一
議員



質問

糸魚川市の農業について

- (1) 作柄・作況について
市内の2019年産米主食用米の作柄・作況とその主な要因について、どのように把握し、対策を立てているか。
また、コシヒカリの1等米比率が、過去最低水準に落ち込んでいるが、市内生産者の収入や今後の作付けなどの影響について、どのように考えているか。
- (2) 今後の作付けについて
高級米として販売を始めて3年経過した「新之助」について、市内の生産・販売は順調に推移しているか。
今年の作柄・作況の状況や全国の需給などにより、主食用、業務用など今後の作付けについて、どのように考えているか。

▼市長答弁

- (1) 8月中旬のフェーン現象により1等米比率が例年より低い状況となっており、生産者の収入減少が見込まれることから、JAひすいでは、2等米、3等米の仮渡金を改定し、生産者の収入確保を行っている。また、今後は、関係機関と連携し、気象変動による影響に対

応した作付け指導を行っていく。

- (2) 新之助の作付面積は、増加している状況であり、30年産については、全農及び個人販売ともに完売している。来年の水稲作付けについては、多様な米作りを進め、作期分散と適期作業により品質向上を進めることとしている。

質問

大雨、洪水等の災害時における情報の収集と伝達及び河川整備について

台風19号は、市内でも各地で大きな被害が発生した。

- (1) 河川の水位、洪水や土砂災害などの危険性についての情報は、どのように収集しているか。
(2) 市民への防災情報の伝達・発信はどのように行われているか。
また、今回も多く多くの市民が各避難所へ避難されたが、避難住民への情報提供はどのように行ったか。

▼市長答弁

- (1) 河川の水位は新潟県河川防災情報システムにより、洪水・土砂災害の危険性は、気象庁の防災情報提供システム及び新潟県土砂災害警戒情報システム等により収集している。
(2) 防災行政無線、安心メール、市のホームページで情報発信した。
また、避難住民への情報提供については、リアルタイムでの危険箇所など現場の状況は提供していない。

その他の質問項目 ○高齢者のペット飼育について

③国や県では、被害を軽減する対策も含めて、氾濫を未然に防ぐ対策を進めている。



新保 峰孝
議員



質問

激甚化する自然災害と防災について

- (1) 地球温暖化により激甚化する自然災害に対して、これまで以上にしっかりした対応が求められると思うが、どのように考えるか。
(2) 台風21号は低気圧と一緒にすることで千葉県等に豪雨をもたらした大きな被害を出した。近年の災害への対策をどのように強化しているか。
①電線等の暴風雨対策
②豪雨等による山林等の土砂崩れ、地滑り対策
③堤防決壊等を防ぐための河川整備

▼市長答弁

- (1) 近年、集中豪雨が増加しており、今後もこのような状況が続くものと考えていることから、引き続き人命を最優先とする対応をしていく。
(2) ①電気設備技術基準に基づき、設備面の対策を行っているとお聞きしている。
②急峻な地形である当市において、治山事業の推進が重要であり、引き続き、国・県・地元と連携しながら防災対策を推進していく。

質問

駅北復興と振興策について

- (1) 被災地域周辺を含めた駅北地域の産業及び土地利用の現状について、どのように把握、認識しているか。
糸魚川駅北側は大火前よりも商業・業務系事業所が少なくなっているように思う。どのように都市計画を推進していく考えか。
(2) 商業施設、事業所等が中央大通り線沿いに新設、移転され、車の流れ、人の動きが変化している。今後の駅北地域の産業振興、まちづくりをどのように進めていく考えか。

▼市長答弁

- (1) 駅北地域は都市計画の商業地域に指定されているが、商業・業務系の事業所が減少していると捉えている。にぎわいの創出や都市機能の集積などにより、多くの人々が交流できるエリアとしての土地利用が図られるよう取り組んでいく。
(2) 各用途地域内における適正な土地利用を促すとともに、駅北復興まちづくり計画に基づく施策・事業を進め、人の流れが増えるよう進めていく。



古川 昇 議員



質問

介護予防の取組について

厚生労働省は「保険者機能強化推進交付金」を2020年度、大幅に拡充する方針である。介護予防や自立支援に成果を上げた自治体に配分を多くし、自治体間競争を促す。積極的に取り組み、成果を上げた自治体に手厚く配分して、増え続ける介護費用を抑制するとしている。以下伺う。

- (1) 介護予防は要介護状態になる前の自立支援、重度化防止を重点に進めているが、総合事業の取組の現状を伺う。
- (2) 要介護状態の改善は簡単ではないと指摘されているが、介護現場の実態調査や現状把握の取組は行っているか伺う。
- (3) 家族介護を続ける中で不幸な事件が起きている。単身高齢者介護、老々介護、多重介護など糸魚川市の現状を伺う。

▼市長答弁

- (1) 総合事業のサービス内容の充実と普及により、それを利用される高齢者が増加している状況である。
- (2) 介護認定を受けた方に対するアンケートや国が運営

する情報システムを活用し、現状把握に努めている。
(3) 29年度在宅介護実態調査によれば、要介護者のうち独居者は19.6%、介護者の年齢が70歳以上の方が23.3%であるが、多重介護の状況については把握していない。

質問

障害者支援について

障害のある方が地域で自立して生活していくためには、就労して収入を得ることは大事である。一般就労が難しい障害のある方も能力や適性に応じた福祉的就労ができることで、工賃収入の確保と意欲向上にもつながっている。支援策などについて伺う。

- (1) 今年度就職の実績や就労実習の取組、地元受入れ企業の広がり傾向はどうなっているか伺う。
- (2) 福祉事業所における生活介護事業や生活自立訓練事業の拡充に対する相談や支援策について伺う。

▼市長答弁

- (1) 今年度、障害サービスの就労支援を受けていた方で、一般就労に移行された方が5人、市内の就労実習の受入れ企業は、16社となっている。
また、当市の障害者の就業率は向上しており、企業の障害者の受入れも、少しずつ広がっている。
- (2) 福祉事業所から生活介護や生活自立訓練事業の拡充について相談はあるが、職員確保などの課題もあり、拡充には至っていない。



吉岡 静夫 議員



質問

旧姫川病院、その後の動き・取組・対応のありよう・あり方

「空き家」対応。当市はもちろん、全国的にも大きな社会問題・行政課題となっている。旧姫川病院は、まさにその代表格。行政対応が喫緊の課題である。いま一つが全体取組。これが最大の課題。

設立以降、「公」(オカミ)が関わり続け、「民」(タミ)も関わり続けてきたという歴史・事実がある。それぞれどう対応しようしているのか伺う。

▼市長答弁

所有者による管理責任を原則として、糸魚川市空家等対策計画に基づき対応している。

また、旧姫川病院については、これまでも関係者、関係機関の皆様と何ができるか検討してきたが、現状では市が何らかの対応をすることは難しいものと考えている。

質問

弱者をこそその市政に軸足を置こう。

私たち、行政執行の軸足を「強・大・多・賑やか」から「弱・小・少・静か」へ置こうではないか。私たち市民(タミ)、誰しも「トシをとる」・「ヤマイにかかる」。そんな一人ひとりである。であればこそ弱い私たちが、この小さなまち「糸魚川」で、地道に、でも「自分」らしく、生き活きと生き続けられ、暮らし続けられるまち、そういったまちづくりに行政執行の軸足を置こうではないか。

ということで、二元代表の一方である市長、あなたにこの提言・呼び掛けをさせていただきたい。お考えを伺う。

▼市長答弁

自分らしく生き活きと暮らせるまちづくりは重要だと考えている。

質問

市議会議員の数、どうあるべきが妥当と考えるか。

今、「議員の数の問題をどう受け止めるべきか、どう取り組んでいくべきか」の論が、議会内はもちろん、主権者である市民一人一人の間でも交わされている。

「市長」、このことをどう受け止め、どう考えておられるか伺う。

▼市長答弁

議会の皆様のご論議を尊重したいと考えている。

議案の審議結果

第5回定例会(12月2日～12月19日)

番号等	件 名	結 果
87	専決処分の承認を求めることについて（令和元年度糸魚川市一般会計補正予算（第3号））	承認
88	糸魚川市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の制定について	可決
89	地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	可決
90	成年被後見人等の権利の制限に係る措置の適正化等を図るための関係法律の整備に関する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	可決
91	糸魚川市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決
92	糸魚川市生涯学習センター条例の一部を改正する条例の制定について	可決
93	糸魚川市公民館条例の一部を改正する条例の制定について	可決
94	糸魚川市集会施設条例の一部を改正する条例の制定について	可決
95	糸魚川市青少年教育施設条例の一部を改正する条例の制定について	可決
96	糸魚川市社会体育施設条例の一部を改正する条例の制定について	可決
97	糸魚川市多目的交流センター条例の一部を改正する条例の制定について	可決
98	糸魚川市交流促進センター条例の一部を改正する条例の制定について	可決
99	糸魚川市立学校施設使用条例の一部を改正する条例の制定について	可決
100	糸魚川市都市公園条例の一部を改正する条例の制定について	可決
101	糸魚川市農村コミュニティ広場条例の一部を改正する条例の制定について	可決
102	糸魚川市能生B＆G海洋センター条例の一部を改正する条例の制定について	可決
103	糸魚川市ふれあいセンター条例の一部を改正する条例の制定について	可決
104	糸魚川市民会館条例の一部を改正する条例の制定について	可決
105	糸魚川市能生マリンホール条例の一部を改正する条例の制定について	可決
106	糸魚川市博物館条例の一部を改正する条例の制定について	可決
107	糸魚川市おてこ会館条例の一部を改正する条例の制定について	可決
108	糸魚川市火災予防条例の一部を改正する条例の制定について	可決
109	新潟県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び規約の変更について	可決
110	指定管理者の指定について（能生マリンホール）	可決
111	糸魚川市都市交流促進センター条例の一部を改正する条例の制定について	可決
112	糸魚川市温泉施設権現荘条例の一部を改正する条例の制定について	可決
113	糸魚川市長者温泉ゆとり館条例の一部を改正する条例の制定について	可決
114	糸魚川市須沢臨海公園条例の一部を改正する条例の制定について	可決
115	糸魚川市親不知ピアパーク条例の一部を改正する条例の制定について	可決
116	糸魚川市白馬山麓国民休養地条例の一部を改正する条例の制定について	可決
117	糸魚川市活性化施設条例の一部を改正する条例の制定について	可決
118	糸魚川市漁港管理条例の一部を改正する条例の制定について	可決
119	糸魚川市海岸保全区域占用料等徴収条例の一部を改正する条例の制定について	可決
120	糸魚川市ガス供給条例の一部を改正する条例の制定について	可決
121	指定管理者の指定について（柵口温泉権現荘）	可決
122	指定管理者の指定について（能生海洋公園）	可決
123	指定管理者の指定について（海の資料館 越山丸・マリンミュージアム 海洋）	可決
124	指定管理者の指定について（神道山公園）	可決
125	指定管理者の指定について（グリーンメッセ能生）	可決

126	指定管理者の指定について（シャルマン火打スキー場）	可 決
127	指定管理者の指定について（シーサイドバレースキー場）	可 決
128	指定管理者の指定について（駅北広場）	可 決
129	糸魚川市青海総合福祉会館条例の一部を改正する条例の制定について	可 決
130	糸魚川市市税条例の一部を改正する条例の制定について	可 決
131	糸魚川市診療所条例の一部を改正する条例の制定について	可 決
132	糸魚川市こころの総合ケアセンター条例の一部を改正する条例の制定について	可 決
133	指定管理者の指定について（糸魚川市斎場及び能生火葬場）	可 決
134	指定管理者の指定について（健康づくりセンター）	可 決
135	令和元年度糸魚川市一般会計補正予算（第4号）	可 決
136	令和元年度糸魚川市水道事業会計補正予算（第1号）	可 決
137	令和元年度糸魚川市簡易水道事業会計補正予算（第1号）	可 決
138	令和元年度糸魚川市国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）	可 決
139	契約の締結について（能生中学校校舎大規模改修（建築）工事）	可 決
諮問4	人権擁護委員候補者の推薦について	適任と認め答申
請願3	免税軽油制度の継続に関する請願書	みなし採択
請願4	天皇陛下御即位賀詞を求める請願書	みなし採択
陳情15	基礎年金の改善と年金の毎月支給を求める意見書採択陳情書	みなし不採択
発議7	免税軽油制度の継続に関する意見書	可 決
発議8	基礎年金の改善と年金の毎月支給を求める意見書	否 決
発議9	天皇陛下御即位を祝す賀詞に関する決議	可 決

決 議

本定例会において、下記の決議が議員発議され可決しました。

天皇陛下御即位を祝す賀詞に関する決議

賀 詞

天皇陛下におかせられましては 風薫るよき日に御即位なされましたことは慶賀にたえないところであります
天皇皇后両陛下が御清祥であられ 令和の時代が世界の平和とわが国の繁栄をもたらすものとなりますよう
う心からお祈り申し上げます

糸魚川市議会は 謹んで慶祝の意を表します

令和元年12月19日

糸魚川市議会

行政視察受入状況

糸魚川市議会では、行政視察を積極的に受け入れています。

平成31年（令和元年）中の視察受入団体名（合計：33団体 259人）

※都道府県番号順

- ◎青森県／弘前市議会
- ◎山形県／小国町議会
- ◎茨城県／つくば市議会
- ◎埼玉県／本庄市議会、中央広域事務組合議会、入間郡町村議会議長会
- ◎東京都／西東京市議会
- ◎神奈川県／愛川町議会
- ◎新潟県／新潟県議会
- ◎富山県／魚津市議会
- ◎石川県／川北町議会
- ◎福井県／あわら市議会、坂井市議会
- ◎長野県／伊那市議会、安曇野市議会、富士見町議会、山ノ内町議会

- ◎岐阜県／羽島市議会
- ◎静岡県／熱海市議会、磐田市議会
- ◎愛知県／岡崎市議会、豊川市議会、安城市議会、日進市議会
- ◎兵庫県／宝塚市議会
- ◎鳥取県／鳥取市議会
- ◎岡山県／井原市議会
- ◎愛媛県／四国中央市議会
- ◎福岡県／広川町議会
- ◎長崎県／大村市議会
- ◎宮崎県／宮崎市議会
- ◎鹿児島県／鹿児島市議会、日置市議会

議員発議による意見書の提出

議員発議により提出された次の発議を本定例会で可決し、意見書を関係機関に提出しました。

【発議第7号】 免税軽油制度の継続に関する意見書
(提出先) 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、
総務大臣、財務大臣、経済産業大臣、
農林水産大臣、国土交通大臣

議員発議とは…議員が議案を提出することを言います。
市長が提出する議案と同様に、議会で審議をして採決します。

答 申

人権擁護委員候補者の推薦

現委員の任期満了に伴い、次の方が推薦されたので、適任と認め、答申しました。

伊藤 清正さん (能生・再任)

任期 令和2年4月1日から3年間

答申とは…各委員の選任などについて市長から同意や意見を求められたものに対し、議会で審議し、回答するものです。

連絡協議会

近隣の自治体議会と連絡協調を図るため、連絡協議会を開催し、懇談会や施設視察等を行いました。

11月25日

糸魚川市・朝日町議会議員連絡協議会
(開催地：朝日町)



朝日町教育委員会事務局 久保学芸員による講演

議会を傍聴 しませんか

定例会の日程

3月市議会定例会の会期及び日程(予定)

2月25日(火)	本会議(議案説明・委員会付託等)
28日(金)	議会運営委員会
3月2日(月)	本会議 一般質問
3日(火)	本会議 一般質問
5日(木)	本会議 一般質問
6日(金)	本会議 一般質問
9日(月)	市民厚生常任委員会
10日(火)	総務文教常任委員会
11日(水)	建設産業常任委員会
12日(木)	予算審査特別委員会
13日(金)	予算審査特別委員会
16日(月)	予算審査特別委員会
17日(火)	予算審査特別委員会
19日(木)	議会運営委員会
23日(月)	本会議(委員長報告・質疑・採決等)

- 通常、本会議は6階議場、委員会は5階委員会室で午前10時から開始します。
- 本会議(議場)の傍聴席入口は7階です。庁舎東側のエレベーターをご利用ください。
- 本会議、委員会いずれも各入口に受付簿がありますので、住所と氏名を記入して入場してください。
- 議場、委員会室入口には傍聴時の注意事項を掲示してありますので、傍聴前にご一読ください。
- 席数は議場54席、委員会室8席と制限があります。団体が傍聴希望の場合、事前にお問合せください。

※3月定例会で議題とする請願・陳情は、2月17日(月)までに提出されたものになります。詳しくはお問合せください。

市議会をホームページでご覧いただけます。

市議会のホームページで、本会議の中継映像、録画映像と、予算審査特別委員会の録画映像の配信を行っています。インターネットに接続したパソコン(インターネットエクスプローラー対応)で視聴できます。なお、平成30年6月市議会定例会以降の映像は、スマートフォンやタブレット端末でも視聴できます。また、ホームページでは本会議の会議録も掲載しています。ご覧ください。